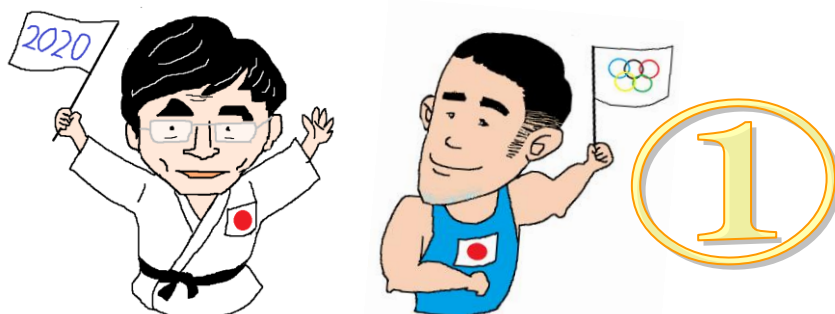


# 希望を語る

2000 年 8 月発足

19年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

[www.kenkou-zoushin.com](http://www.kenkou-zoushin.com) [info@kenkou-zoushin.com](mailto:info@kenkou-zoushin.com)

## 新しい年を迎えて

院長 水上 治

去年はいろいろなことが世界的に起きましたが、私どもは無事に新年を迎えることができ感謝です。

人間の脳は、短期的には悲観的でも、長期的には楽観的になるようにできています。狩猟時代、人は今日はちゃんと獲物がとれるかな、自分たちは飢餓にならないかな、と心配したでしょうが、いつの間にか、まあ何とかなるだろう、と思うようにもなるものです。だから人類は生き延びて来ることができました。闘病生活でも、一時的にデータがパッとしなくても、長期的には何とかなるといいな、と脳は考えるものなのです。この点、新年は気持ちを入れ替えるいい機会なのです。

今年は、「免疫司令塔療法」と私が名付けた最新治療に挑戦します。これは欧米で 30 年ほどの長い歴史のある治療法の改良型で、植物由来の栄養素が成分で、週 2-3 回の皮下注射で済み、1-1.5 か月で効果判定ができます。昨年秋訪問したスイスの世界的な癌クリニックでもやっていました。副作用はほとんどありません。

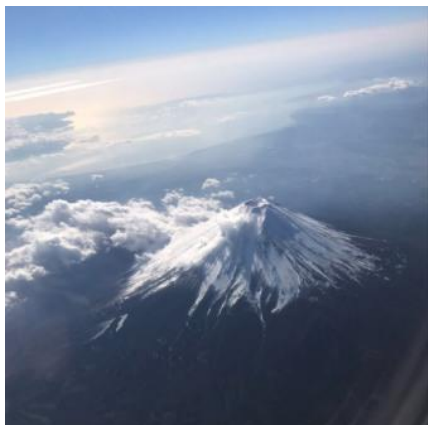
本年もスタッフ一同、更に皆様のお役に立てるよう尽力いたします。

# 五行歌

小林美智代さま

入院中に  
紅葉した  
景色  
あかずに毎日  
見入る

あなたが喜ぶのが  
嬉しくて  
私は一人  
ニコニコしている  
この幸せ



上空から見た富士山

## 受験～娘の場合～

菊地明美さま



「受験ってしなくちゃだめなの？」

小学5年生になった娘が度々尋ねるので、あやしい、とは思っていた。2歳年上の息子は受験し、私立の中高一貫校に通っている。娘も兄に倣って受験するのだろう、あの苦労と喜びを今度は娘と共にくぐり抜けるのだ…というつもりでいた。だが本人の気持ちは揺らいでいたらしい。つい最近、塾の面談があったので改めて問いただしたところ、

「受験したくない」

キッパリと言い放った。理由は、小学校の友達と離れたくないからだという。その友達の中には、娘によると告白されて両思いだというN君の名前も入っていた。どうやらN君と離れたくないというのが一番のようだ。

「でもねえ、人の気持ちは変わるのよ。そんないつときの気持ちに流されて大事な進路を決めてしまっていないの？」

そう諭したい思いはやまやまだったが、思春期の入り口にいる女子にそんなことを言おうものなら、反発を食らうこと必須である。「ママ意地悪！」と非難され、親子の信頼さえ揺らぎかねない。かといって、「ウチの娘の進路を変えさせたんだから、一生責任とってね」とN君に詰め寄るわけにもいかない。相手はまだ11歳の子どもである。

真面目に勉強して内申点が取れるのだったら、公立でも構わないのだ。娘はその点、学校の宿題はきちりやるし、生活態度も良好で、担任の先生の評価も高い。こういう子は公立の方が合っているのかもしれない。それに、きょうだいのうち1人が私立で1人が公立というのも、違いが分かって面白そうだ。4年後には、兄が大学、妹が高校のダブル受験を迎える計算になるが、「1回で済んでいいじゃない！」というママ友の言葉に、なるほどそうかも、と私の気持ちも切り替わってきた。

しかし、気が変わりやすい女子のこと。6年生になってクラスが変わり、N君と離ればなれになり、いつしか気持ちも遠のき…「やっぱり受験する！」と言い出す可能性が1%くらいは残されている。どう転んでもいいように、母たるもの、気力と体力は養っておこうと思う。

# みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



佐藤様はH7年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24年より当院にて鍼治療を開始しました。加藤医師の勧めで始めた絵手紙。ももとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。それを北海道在住の妹さんに送ったところ、とても喜んでくださり、カレンダーにしてくださいました。

昨年末、妹さんの紀子さまからお便りのご家族の愛がこもったカレンダーが届きました（クリニック待合室の扉に飾っています）

みなさまへ

今年は「自分の命を最優先に守ってください」と気象庁から発表される台風が次々と日本を襲って来ました。異常気象により風も雨も予想される範ちゅうを超えたものになりました。これからも襲ってくるであろう台風、地震にどのように備えていけばいいのか、もう一度考えていく必要があると思いました。

みーこ姉ちゃんの居住地にも避難勧告が出たそうですが、本人は車椅子です。そのような場合に避難はどうすればよいのか、避難場所は車椅子にも対応してもらえるのかとても不安なことです。今回の台風でも避難している最中に被害に合われた方がいたと報道で知りました。みーこ姉ちゃんはマンションの上の階だったので、避難しない方が安全ということで無事何事も無く過ぎ去ることが出来たようです。ただ、窓枠にキッチリとテープを張り巡らし、玄関には新聞紙をはさみ、室内には雨漏り対策で衣装ケースを何個か並べ、準備万端のようでした。これはすべて義兄のキチッとした性格からくるものようです（素晴らしい）後日談…窓枠に張ったテープがはがれなくなったようでこれはため息ですね（笑）

今年もみー子ねえちゃんから、その時々季節に合わせた素敵な詩をそえられた絵が送られてきました。昨年末から年始にかけ心身ともに打ちひしがれることがあり、絵を描く精神状態ではなかったようです。しかし家族の手助けはもちろんのこと、信頼している先生の言葉にも救われ、母の今年の三回忌には札幌まで来ることが出来ました。

今では本当に左手で描いているの？と思うほど絵も字も上達しているのですが、動かない左手を机の上に乗せるだけでも大変な作業だと聞いています。時間をかけて描く作業は辛い事で、リハビリになるとはいえ見習いたい精神と思います。

令和元年.12月 紀子

# 《院長と共に癌の勉強会》 水上医師

院長と共に癌の勉強会は  
※今年度より第1火曜日に変更しました  
2月よりスタートいたします！

**要申込!!**

☆当院患者様  
☆そのご家族  
☆eクリニック関係  
者参加費無料

それ以外の方  
参加費 5,000 円

点滴治療中の方もご参加いただけます  
お気軽にどうぞ！

場所 シアタースペースにて



## 加藤医師よりお知らせ

2020年5月に「こもれび診療所」を  
南千住に開院することになりました  
今後ともどうぞよろしくお願い致します  
詳細は後日お知らせいたします



## ❀ 今月のお花 ❀ 寿松・南天・葉牡丹・かすみ草



新年明けましておめでとうございます。  
今年もどうぞよろしくお願いいいたします。  
お花には視覚や嗅覚から得られるもの  
だけではなく、フラワーレメディやアロマテ  
ラピー等があるように、目に見えない不思議な力があります。今年も誌面からお花と  
ともに皆様を応援させていただきたいと思  
います。

さて、今年はいよいよ東京オリンピック  
が開催されますね。毎回オリンピックの開  
会式を見ていて、こんなに色々な国があっ  
たのね…と驚きますが、その国々の方たち  
が皆、東京に集まると思うと楽しみでワクワク  
します。私としては是非、日本の伝統  
文化の生け花にも触れて帰ってもらいたい  
なと思っています。



M. I

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、  
その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら、  
どうぞ事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。